

H100形電気式気動車（DECMO）の投入線区について

JR北海道では、H100形電気式気動車（愛称名：DECMO）の量産先行車2両を新製し、走行試験を2018年2月より実施してまいりました。各種の検証を終え、量産車13両が落成することから、今年度末に計15両を営業投入し、老朽化しているキハ40形の置き換えを進める計画としております。

このたび、最初の投入線区が決まりましたのでお知らせします。

1. 投入線区

○函館線 小樽～長万部間（山線）

※ワンマン全列車を置き換え（201系気動車は現行通り）

※札幌～小樽間では1本のみ運転（早朝の札幌発 然別行き）

2. 投入時期

○納車

・2019年9月：6両（済）

・2020年1月：7両（予定）

○営業運転開始

・2020年春（予定）

※具体的なダイヤ等、詳細が決まりましたら、改めてお知らせします。

※11月下旬～12月上旬に、H100形量産車の報道公開を予定しております。

3. 車両の特徴

- ・電気式気動車システムの採用
- ・全自動空調装置完備
- ・低床化によりホームとの段差を縮小
- ・車いすスペース・車いす対応洋式トイレ設置
- ・液晶式運賃表示（英語に対応）
- ・急勾配での落葉や積雪による空転発生の抑制
- ・急ブレーキ時の車輪踏面傷発生の抑制

4. 今後のH100形導入について

○2020～2021年度にH100形を60両導入する計画です。

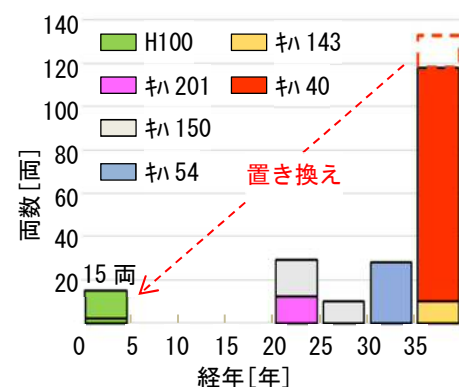
H100形導入により、経年35年以上となり老朽化している車両の置き換えを順次進めてまいります。



量産車外観



客室内



一般気動車の経年とH100形導入後イメージ